ド級編隊エグゼロス
H×EROS
きただりょうま
7
JUMP COMICS SQ.

HXEROS

# Characters

H×EROS EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

| HXEWHITE | HXEPINK | HXEYELLOW | HXERED |
| --- | --- | --- | --- |
| 白雪舞姫 | 桃園百花 | 星乃雲母 | 炎城烈人 |
| エグゼホワイト | エグゼピンク | エグゼイエロー | エグゼレッド |
| ドジで特技がない事を気にしているが、内に秘めたEROSは人一倍。 | 姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。烈人の雲母への気持ちに気付く。 | 幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。幼い自分の姿をした幻覚・黒雲母に悩まされている。 | 幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。 |

# Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS——。突然告げられたエグゼロスの解散。しかし、烈人たちは陰ながらヒーローとしての活動を続けていた。サイタマ新知事の作った条例によって叔父が逮捕された事から、烈人たちは擬態したキセイ蟲が知事に成り代わっているのではないかとの疑いを持つ。調査の結果、彼女は女王キセイ蟲である事が判明し、烈人たちに戦闘で追い詰められるが、そこへ黒いH×EROSを着けた謎の少女が現れ…!?

**チャチャ**

キセイ蟲の王女。Hネルギーを高める体質のため、仲間から疎外されていた。

**叢雨紫子**

トーキョー支部隊員。烈人を自分のHフレにしようとアプローチを続けている。

**キセイ蟲**

人間のエロスの源"Hネルギー"を奪い、絶滅を目論む宇宙人。

**若草萌萎**

トーキョー支部隊員。百花とは同じ中学校出身。

HXEBLUE

**天空寺 宙**

**エグゼブルー**

Hな漫画を描くのが趣味。XEROスーツのデザインを担当した。

第29話：漆黒のエグゼロス
007

第30話：不幸中の最猥
053

第31話：宙のエネルゲン
099

第32話：オナ中の真実
121

第33話：曙のかくしごと
145

ふー
こんなもんか
久々に戻って来たけど やっぱ汚れてるなぁ
第29話
漆黒のエグゼロス
!
こんなトコにスイッチなんてあったんだ…
何のスイッチだろ…
カチッ

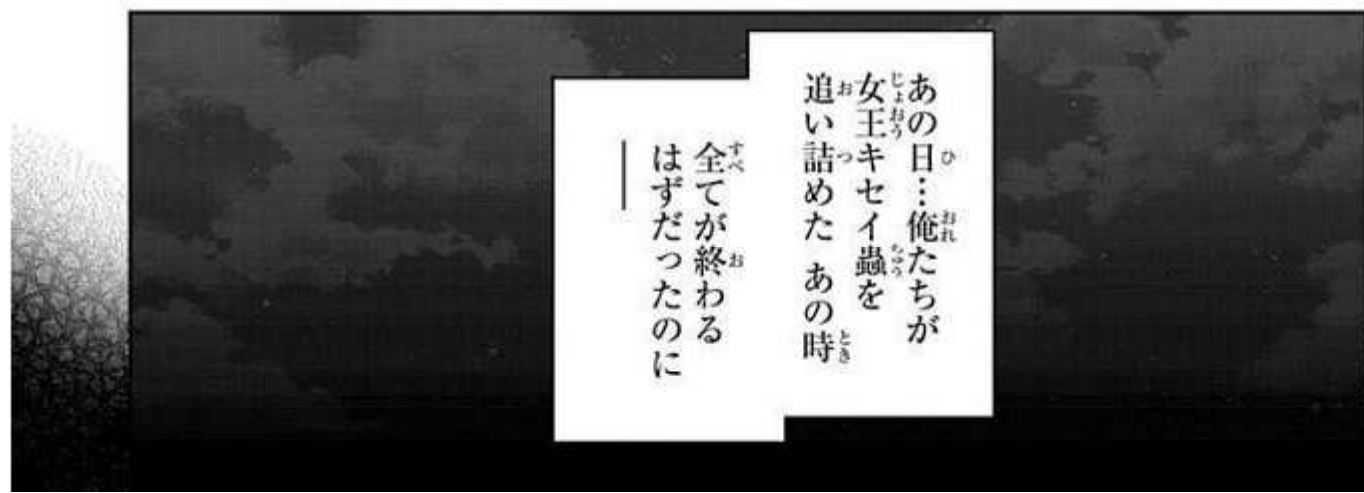
パカッ
!?
そういえばこんなのあったっけ〜〜!
ゴトゴト
ゴゴゴ
ぽーん
ズ!!
シャッ

はっ
……
しーん
よかった…今回は誰も居なくて…
ったく なんで緊急出動で出てくる場所が風呂場なんだか…
そういや星乃が来た初日にこの装置は禁止したんだっけ…
むくっ
エグゼロスも無事復活したことだし
これからは俺もこんなものに頼らなくていい位強くならないと
ガラッ

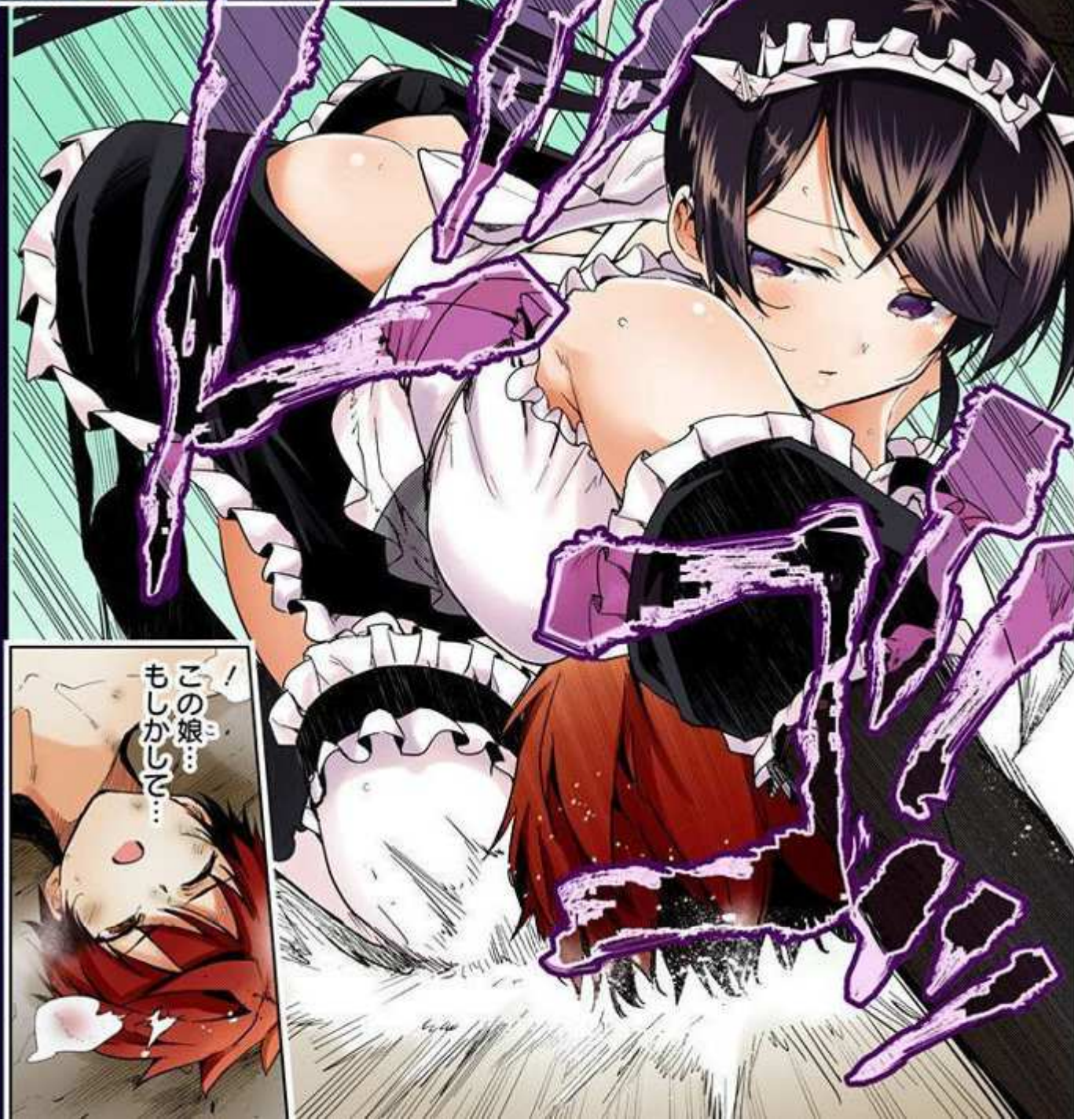
ぽいんっ
あ

べ…別に強くなるって
もっとHネルギー溜めたいとかそういう意味じゃないからな…？
じゃあ なんでこんなとこに居んのよーっ!!!
ガッ
ゴッ
ぼごおっ
ああ…またやっちまった…
もう少しでこんな生活からおさらば出来る所だったのに…
あの日…俺たちが女王キセイ蟲を追い詰めた あの時
全てが終わるはずだったのに
—

数日前——
な…
なんでこんな山奥に…
メイドが

いや驚く所そこじゃなくて…
あれ…！
！
黒い…
H×EROS…？
あなた一体…

くるっ
なんで縮んでるんですか
少し力を使いすぎてね…
ちょ…ちょっと君…！そいつに近づいたら危険だ！
危険…？

ギクッ
こんな所で全裸な人の方が危険なのでは？
い…一体どうなってるのよ…!?
では私たちはこれで
わからない…けどもしかしたらお前と同じであの娘も操られてるのかも…
待ちなさい…！
悪いけどそいつを連れて行かせる訳にはいかないわ

…ならば…
H(ちから)ネルギーずくで止(と)めてみて下(くだ)さい
ズズズズ…ッ
何(なに)このH(エ)ネルギー…
すごく禍々(まがまが)しい…

!?
きゃっ
どてっ
星乃(ほしの)っ!

ズバシッ
!?
どんっ
!
この娘…
もしかして…

戦いながら感じてるのか…？
だ…大丈夫炎城…!?
ィッ

ごめんなさい
でも今の私はこうするしかないの
待っ…!
ガクン
駄目…
Hネルギーの使いすぎで力が…
ドサッ

いやー
よかったよかった
一時はどうなる
ことかと思ったけど
なんとか
釈放して
もらったよ
ジャしィ
さ 今日は
エグゼロス復活を
祝してパーッと
いこうじゃないか
じゃん
おお〜っ!!
にしても
黒いHXEROS
ねぇ…
トーキョー支部の
一つが盗難にあった
とは聞いていたけど
まさかキセイ蟲の
手に渡っていた
なんて…

ねぇねぇ
その持ち主って
どんな子だった？
ん？なんだ
やけに食いつくな
天空寺…
だってそういう子を
味方にするのも
ヒーローの役目だし
そういう
もん…？
言われて
みれば…
でもまさか
星乃さんと炎城さんの
二人掛かりでも
やられるなんて…
そのメイドさん
只者じゃない
ですね…
せやけどチャチャの
力も借りずにスーツが
破ける程のHネルギー
なんて一体何が
あったんやろなぁ？
それはボクも
気になるのだ

ごっ ごちそうさま…！
なんや逃げるんかー雲母ー
ガタッ
そう言えばあれ以降…恥ずかしくて星乃と上手く話せてないんだよな…
結局また自分の気持ちを伝えるチャンスも失っちゃったし…
星乃はどう思ってるんだろ…？
で結局ヤッちゃったんか？
何を!?
うんうん若いっていいねえ
だから違ーって!!

はぁ〜…
どうしたの 雲母？
そんな 抜けた顔する なんて珍しい
んー… バイト先で ちょっと あってね…
しいて言うなら 酷いクレーマーの来る バイト先が閉店しそうで ラッキーかと思ったら 実は新装開店で さらに 厄介なクレーマーが 増えたって感じ
それって 例えなの …？
そっ… そう…？
校則ギリギリの アクセサリー
薄い色つき リップ
ほのかに香る フェアリーローズ
逆に陽香は 上機嫌 みたいね

実はね
雲母…
ゴニョ
ゴニョ
ええ〜っ!
伊達と
付き合うことに
した!?
声が
大っきい…
そうは言ったけど…
まず何からしていいか
わかんないし…
付き合ってる
なんて言えた
ものか…
そりゃあ最初は簡単な
ことでいいのよ
一緒に帰ったり
手を繋いだり
買い物行ったり
そっか…
私も付き合う
ことになったら
炎城と…

ってそんなのもう
やり尽くしてるじゃない…！
ね…ねぇ夕奈…
ちなみにそれが普通になって来たら
次はどんなことすればいいと思う…？
えっ
どうしたの急に
わっ私も
知りたいかも…
うーん…
ちょっと二人には
刺激が強いかも
しれないけど…
ひそ
ひそ
カァアアッ

そっそんなことまでしちゃうの!?
まー相手の興味によるかもしれないけど
おーいそろそろ授業始まるぞー
!?
変態!!
何がッ!?
ガラッ
はいはーい皆さん修学旅行の班決めは終わりましたかー?

ここでなんとうちのクラスに新しいお友達が来ることになりましたー
どうぞー入ってきてくださーい
スッ
!
宵月曙です

それじゃあ宵月さん
最後に一言お願いします

……私
宵月曙は

この世の
エチい物は
全て

滅びればいいと
思ってます

私の前でそういう発言・行動した人は
人とは思わずに接するのでそのつもりで
ゴクッ
はーい 以上宵月さんでしたー皆仲良くねー
ええっと席は空き教室にあるのを使ってもらうから…
…わかりました
じゃあ そこの熱い視線送ってる炎城くん
一緒に持ってきてあげて
俺!?
っていうかさっきの自己紹介…あながち人違いじゃないのかも…

……少しカマかけてみるか…
ガタッ
なぁ宵月さん前にどこかで会ったことないか？
…？覚えてないですけど…
それじゃあメイド喫茶か何かでバイトしたりは…
は？
ギロ
スイマセン何でもないです…

あれ…どっちなんだこの反応…演技には見えなかったし…
あ 俺が運ぶよ
…どうも
それともやっぱりただの人違い…？
！
ペローーン

こ…これは…!?
い…言うべきなのか…？
でもさっきの自己紹介を聞く限り見たってバレたら何をされるか…
いや…だけどこのままだと彼女に恥をかかせることに…
2－H

まった
宵月さん
！
…パ………
パン…
…パン屑が髪に
付いてるから鏡見て
来た方がいいぞ…
え…どこ
…？
あー
そこじゃ
なくて…
ダメだ
余計に食い込ん
じゃってる…！
はぁ…わかった
もう自分で
取って来るから
くるっ
ほっ

なんだ…
何にも付いてないじゃん
あ
ペラ…
ふ…ふぐぅっ…
カアア
また…やっちゃった〜〜〜！

体育――
ピッピーーッ
それじゃあビブスチームは交代ー
今休憩してたチームにビブス渡してあげてー
お疲れ様宵月さん
はぁっ
はぁっ
ありがとう
ぬぎっ
ちょっ宵月さん…!?
?
!!

男子全員あっち向いてなさいっ！
ざわっ
不遇っ
ふぐぅっ
そう…実はこの少女宵月曙は
〝不幸中の最猥〟体質なのだ
情報──
パソコン室
ぽーっ
今時パソコンの使い方くらい皆知ってるよねぇ
カチカチッ
新着メール（7）
メール
差出人
件名
不登録
新生活応援キャ

現代文——

浮雲
二葉亭四迷

それじゃあ次の所を

宵月

現代文B

それも厭なりこれも厭なりで

二時間ばかりと云うものは黙坐して腕を拱んで……

ち…ち…

は叔母の意見に負かなければ
見に負くまいとすれば昇に
ればならぬ。それも厭なりこ
二時間ばかりと云うものは黙
腕を拱んで、沈吟して嘆息して、千思万
、審念熟慮して屈托して見たが、詮ずる所は
の木阿弥。
ハテどうしたものだろう

ちん
ちん…
ぎん
ぎん
ざわっ
？
はっ
現代文B
ふぐぅ〜〜ッ!!
バターンッ
宵月さん!?

すってーん
ぴやっ
ぐすっ
大丈夫？曙ちゃん
うん…ありがと
見ろよ宵月がまたやってるぞ
あー俺見逃しちったー
つーかよく毎回同じ格好で転べるよな
実はわざとなんじゃねーの？
コラ男子ーっ適当なこと言うなー!!
やっべ逃げろ…！

違うもん…
ん…
あ起きた？
宵月さん
あなたは確か
クラスメイトの…
星乃雲母
よろしくね
ここは…？
保健室よ
いきなり倒れ
ちゃうんだもん
びっくり
しちゃった

その…ごめんなさい…
いいのよ昔私も似たような所あったから
？
私も以前は…エッ…チな物に対して過剰に反応してたこともあったから
宵月さんの気持ちもよくわかるわ
…以前はってことは今は…？
もっ…もちろん今だって大の苦手よ!?ただ―
相手にもよるかなって
ドキッ

こんなこと言うのは恥ずかしいんだけど…だからもし そう思わない人が出来たら…

それが恋なんじゃない…？

ガラッ
失礼します
はっ 話は変わるけど宵月さん 最近何か変わったことない!?
例えば夜な夜な宇宙人に攫われたとか…
は? 別にないですけど
起きたみたいでよかった はいこれ飲み物
……どうも…
あそうそう 私達 宵月さんに聞きたいことがあったんだ

修学旅行の班決め
なんだけど…
星乃ともなんだか
打ち解けてた
みたいだしさ
よかったら
宵月さん うちの
班に来ないかと
思ってさ
マンゴー
&ミルク
じゃあ私は
これで
飲み物
ありがとう
ございました
ギュ
……………
考えて
おきます…

ゆるっ…
すとーーん
!?
ビンッ
ガシッ
わっ…!

ドキッ

ごごごめんなさいっ
またやっちゃった…！
ゴメン宵月さん…！
ばっ
俺ってばホント転び方下手でさ…怪我はない？
え…？あ…はい…
良かった…
保健室で怪我したなんて言ったら笑われるもんな

初めてだな…
ぎゅっ
こういう時真っ先に身体を心配してくれる男子に会ったのは…

………

あ…危なかった…！

星乃の手前気にしてないフリしとかないと後で何を言われるか…
じと〜〜

………

あの…さっきの言葉…訂正してもいいですか…？
ん？

星乃さん…
不本意ですが
確かにあなたの
言う通り
私…君の班に
お邪魔したく
なりました
ってことは
私

恋してしまったんでしょうか？

Extra Gallery

番外ギャラリー

私（わたし）…

恋（こい）してしまったんでしょうか…？

# 第30話 不幸中の最猥（アンラッキースケベ）

宵月さん…俺たち
まだ知り合ったばかりだし
!
そういうのは
もっとお互いの
ことを知ってから
なんじゃないかな?
………
それもそう
ですね…
では不束者
ですが よろしく
お願いします…
…?
お…おう…
ペコッ

それじゃあ
また後で
……
ガラッ
ちょっと…!!
どういうつもり
なのよ炎城…!?
何が…!?
そりゃあ…
まずあの子の
正体を確かめ
ないと…
だけど言い方って
もんがあるでしょ…
あんなの告白に
対してまんざら
でもない時の
返事じゃない…!
だから今の…
お互いのことを
もっとよく知って
からみたいな奴!
がしっ

俺…そんなつもりは全然なかったから
ドキ
悪かった！
放課後──
キーンコーンカーンコーン
ま…まぁそう言うなら…
えくっ宵月さんってケータイ持ってないの!?
うん

もっと別のことにお金使いたくて
じゃあ遊びに誘う時はどうすればいいの？
おうちに電話とか？

それじゃあ
炎城烈人くん
一緒に
帰りましょう
えっ!?
そんな約束
してたっけ…?
だってさっき
お互いのことを
もっと知ろうって…
言ったけど
そういう意味
では…
あ…すいません…
こういうの初めてで
嫌とは知らず
誘ってしまって…
しゅんっ

いや…別に嫌って訳では…
ホントですか…？
！
そっ そうだ 宵月さん
ちょうど私もこの街 紹介しようと思ってた所だし付いて行っていいかな？
星乃…！
あ…ありがとうございます…
それじゃあ行きましょ
おい 一体何したんだよ炎城…!?
転校初日に女子の方から下校誘われるなんて…！
し…知らねーよ…！

星乃さんって炎城くんと仲がいいんですね
実を言うとね…私達 幼馴染なのよ
付き合ってる人とかは居るんですか？
さっさあね？
少なくとも私は知らないかなぁー？
ま 興味ないけど
いや 炎城くんじゃなくて星乃さんの話なんですけど
あっ…ああ！

私は…居ないわよ
それじゃあ…片思いなんですね
ど…どうしてそう思うのかしら…？
だってさっきのあの台詞…あなたも恋してるのかと
相手にもよるかなって
しまったああああああぁ
どうかしました？

おまたせ
さっ早く行きましょ
あっちょっと…！
行くってどこに…？

そうだ宵月さん水着って持ってる？
中学のスクール水着なら一応…
ちょうどいいし新しいの買っといた方がいいかもしれないわよ

何たって修学旅行は沖縄なんだから

！
ダッ
炎城〜〜〜っ

叢雨!?
聞いたぜ サイタマ支部が解散しそうになったって…
大丈夫か？ おっぱい揉む？

オレ？オレは炎城のHフレ…
たっ 他校のバイトの知り合いだよ…！
私…あなたみたいなタイプは苦手です
がるるっ
あははっ よく言われるよ
悪いけど 叢雨
俺ら ちょっと これから買い物に行くんだけど…
！
それなら オレも付いて行こっかなー
えー
いいだろ？わざわざトーキョーから来たんだから
はー…仕方ないわね…

SUMMER SAL
へー 水着かー そういやオレも ちょうど買おうと 思ってたんだよな
別に無理して 付き合わなく てもいいのに…
けどさ…
お前だって この前 駄目にした ばっかだろ？
21話参照
あ…
わ…私も今日 買って帰ろう かな…？
一緒に水着駄目に するとか どんな 状況ですか…？

そういや俺も水着買わないと…
がしっ
ちょっと待て炎城…
水着…選ぶの手伝ってくんねーか…？
いやいや…そんなの自分の好きなの買えばいいだろ…？
あのな…Hフレってのはこういうこともするもんなんだよ
それはお前が勝手に言ってるだけだっつーの…！
いいよ…それじゃあ着替えたら歩いてお前ん所に見せに来るから
わ…わかったからそれはやめろ…！
あの叢雨って人…いつもああなんですか…？
はー…
まあね…

叢雨さん…まさか水着を炎城に選んでもらうなんて…
けど…なんでこんなに不安なんだろ…
どうせこんな感じのツッコミ待ちみたいな水着に決まってる…
スッ
私も負けていられないでしょ…？
そう思ってさっき私が無意識を使って水着選んであげといたから

さ…流石に
コレは無い
でしょ…！
いやいやー
あの叢雨紫子に
勝つなら これ
くらい着ないと
試着出来たぞ
炎城ー
はいはい…
！
どう？
向こうは
どんな感じ
かな…？
ひょこっ
ニヤッ

い…いいんじゃないか…？
フフ…驚いてる驚いてる…♪
男子はギャップに弱いってのはやっぱホントみたいだな…
なによ炎城…いつものリアクションと違うじゃない…！
で雲母はどんなの選んだんだ？
いやっ私は まだ…
ほほ〜♪
こ…これは違うのよおおおっ！
お…俺他の所行ってくるわ…

宵月さん まだ選んでるのか？
はい…けど どれもしっくり来ませんね…
こんなの私が着たら絶対すぐ脱げるに決まってる…
！
あれならまだましかな…
私も見てもらってもいいですか？
へ…？

どうでしょうか？
シャッ
い…いいと思うけど宵月さん それ…
？
薄手の奴は普通下にインナーか何か着ないと…

ふぐうっ
またやっちゃった〜〜〜!
宵月さんほんとに買わなくて良かったの?
うん…今手持ちのお金もなかったし…
いやー買った買った
なんか悪いな…結局買い物に付き合わせた形になっちゃって
いいんです…元は私から誘ったんですし
!?
何だ…?
停電?

駄目…
非常電話も
繋がらない…
カチ
カチ
おいおい
嘘だろ…

とりあえず
ケータイは
繋がるみたい
だけど…
こういう時
って どこに
かけるんだ?
さぁ…?

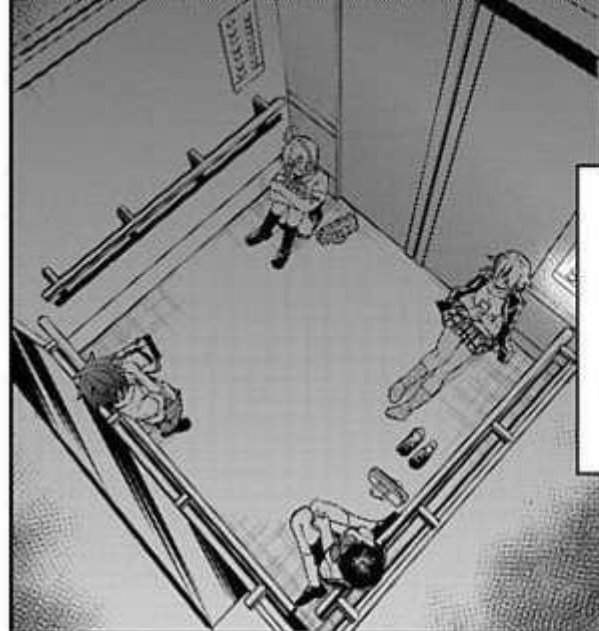
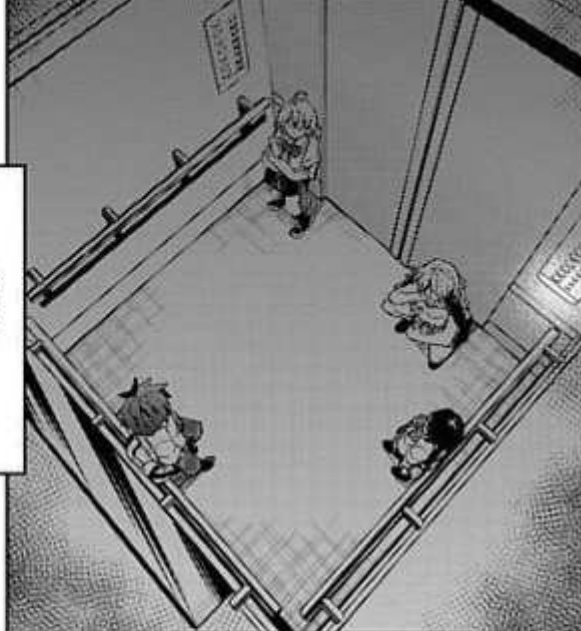
まぁすぐに
復旧するだろ
それも
そうね
………

あー暇だ…今何分経った？

まだ10分くらい…

くつろぎ過ぎでは…？

ぐだーっ

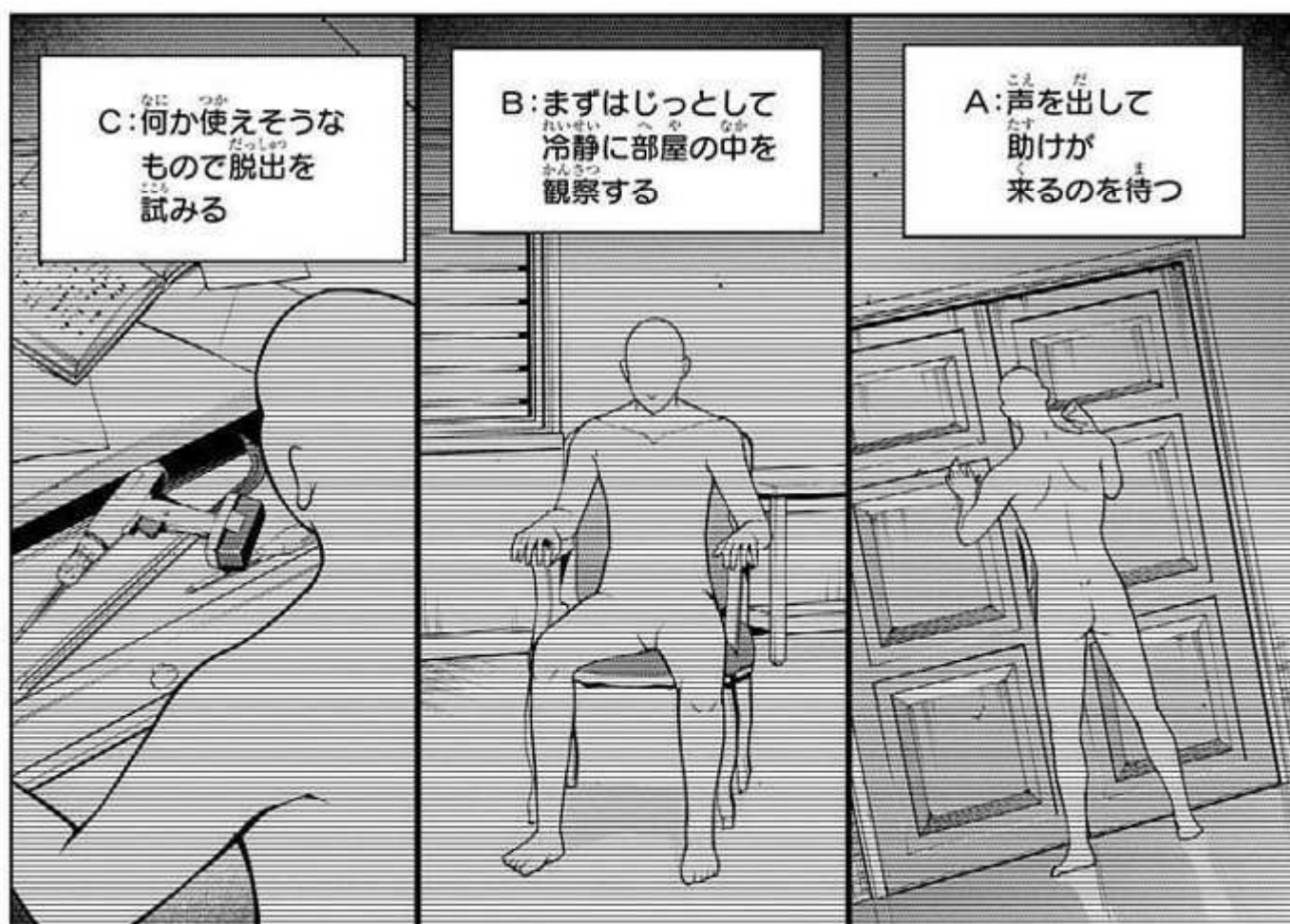
！

そうだ！丁度いい心理テストがあるんだけどやんねーか？

んー まぁ普段ならスルーしてるとこだけど

今くらいは聞いてあげるわ

A：声を出して助けが来るのを待つ

B：まずはじっとして冷静に部屋の中を観察する

C：何か使えそうなもので脱出を試みる

…うーん
俺はAかな
まずは
助けを求めて…
それでもダメなら
その後に考えるよ
そんなの監禁
だったら どう
すんのよ…？
私はCね
もし武器になりそうな
物があったら犯人が
入ってきた時に
ぶちのめしてやるわ
自分はB
ですかね…
まずどこに
閉じ込められているか
判断しないと
AもCも選べませんし
なるほど
ねぇー…
ニャニャ
でこれは
何の心理テスト
なんだ？
えーっとな…

Aを選んだアナタは正常タイプ
ほっ
落ち着いた雰囲気でする方が快感が高まりそう
？
Cを選んだ大胆なあなたは騎乗タイプ
そんな積極的な振る舞いに二人のムードが盛り上がること間違いなし

Bを選んだ
奥手なあなたは
後背タイプ

逆に恥ずかしい
格好を見られる
ことが興奮に
つながるかも

どうだ？当たってるか？
そんなこと知る訳ないじゃないですかっ!!
やっぱこいつに任すんじゃなかった…！
さっきから身体が熱くて…汗が止まらない…
じわ…
これってもしかして――
あれ…なんだろ…
確かにそう言われてみれば…
空調止まってる…？
だからさっきからこんなに暑ちーのか…

もう我慢できねー
もうダメだ…
ぬぎっ
何してんだよ叢雨!?
何って さっき買った水着に着替えんだよ
このままじゃ服が汗でびしょびしょになっちまうからな
なんだ炎城 そんなに着替えてるとこが見たいのか?
ちげーよ!

きゅっ
ホント信じらんない
こんな所で水着に着替えるなんて…
それは自分の姿を見てから言うんだな雲母
!?
じわ…

片や健全な水着姿
片や汗まみれの透けブラ
不健全なのはどっちかな？？
くっ！

しゅる〜
ドキ
ドキ
お…俺も上着だけでも脱ごうかな…
はっ!?
ぽや〜〜っ
まさかホントにすぐ後ろで着替えてるなんて…
収まれ俺の想像力…!!

大丈夫 宵月さん…？
さっきから 黙ったまま だけど…
………ごめん なさい…
この停電… 多分私の所為 です

二人は心当たりあるかもしれないですけど
私…昔からよくエチいハプニングを引き起こしちゃう体質なんです…
ごめんなさい…先に言っとくべきでしたよね…
せっかくの買い物を台無しにしてすみませんでした…
私なんかが誰かを誘うべきじゃなかったんです…
なーんだそんなことだったのね

最初 あんな自己紹介でびっくりしちゃったけど
今ので逆に少し安心しちゃった
なんで…今のどこが安心なんですか…!?
実を言うと俺たちもこういうハプニング
結構慣れてるからさ

ま…とにかくさ…そんなに自分を責めることはないと思うぞ

そうそう…私達は言うなれば似た者同士…

仲間なんだしさ

パッ

！

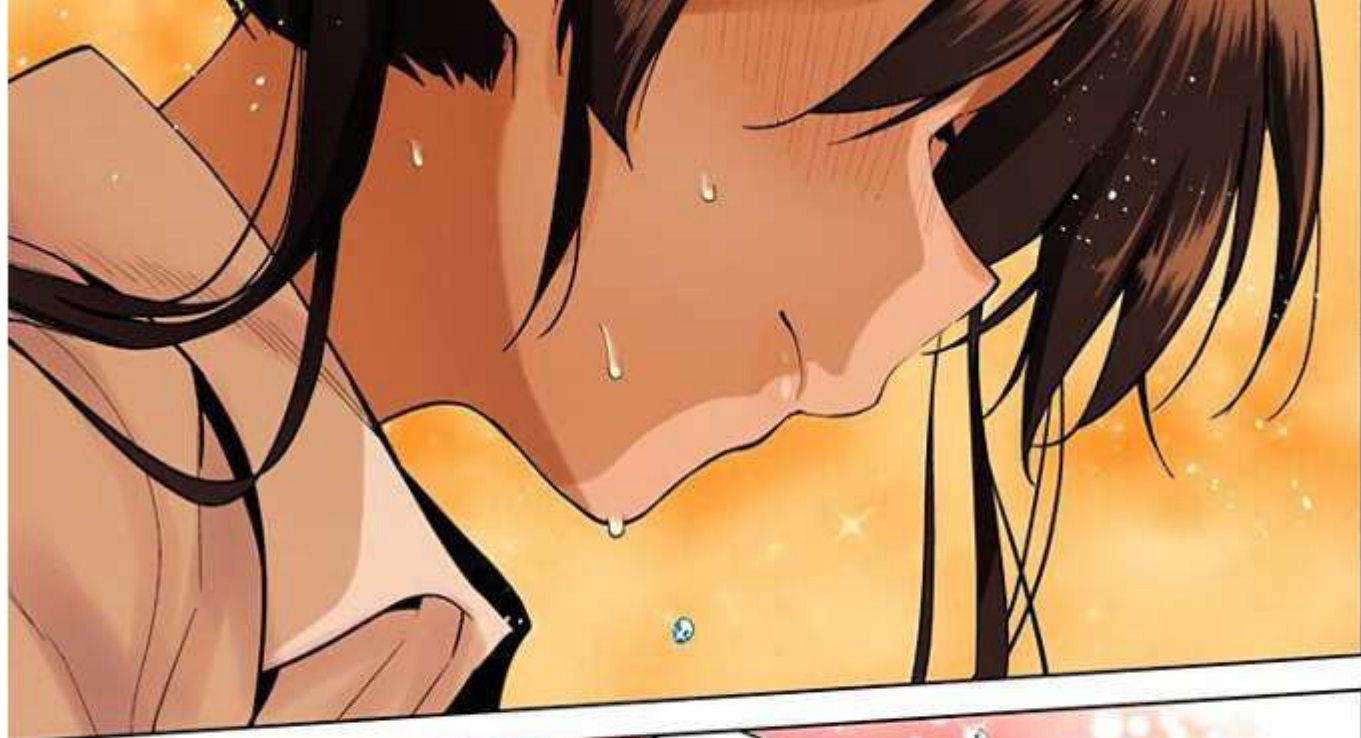
動いた…

にしてもこんなベタな展開久しぶりだったぜ
やっと出られるのね…
ほっ
えーっと皆さん…
早く着替えなくていいんですか…？
ちょっオレの服どこだっ!?
炎城っあっち向いてなさいよっ…！
わっ私閉まるボタン押しときますっ
!?
ズルッ
ドサッ
ふぐっ
!?

ん…
ぷにっ

ちーーーん

良かった…誰も居ない…

ゴウン

ごごごごめんなさいっ

まるで女版炎城みたいなことするのね…

もしかしてHEROの素質あるんじゃねーの？

い…一体何やったんだ宵月さん…？

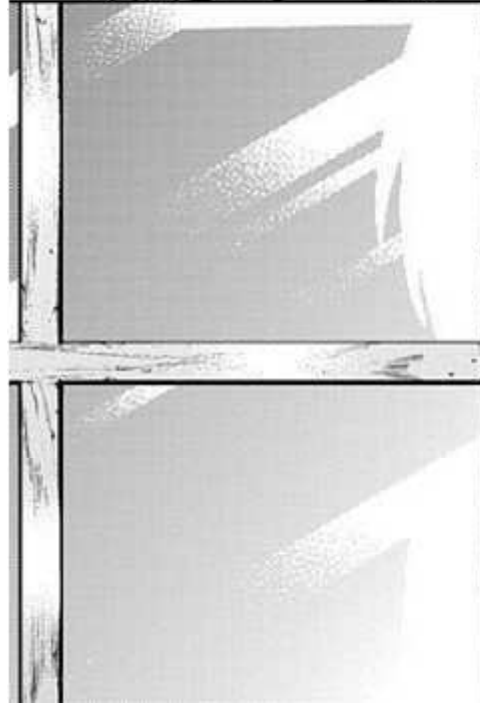
ちょっとそこで待っててて宵月さん
…？はい…
！
ちょっ
はいこれ
ガサッ
私にですか…？…でもなんで…
いやー…その…
また透けちゃってるからさ…
スケ…

なんでこの人の前でばっかりこんなことに…！
でも…毎回真摯に誤魔化してくれる人なんて今まで――
ばっ
すくっ
今日は色々あったけど…
ありがとうございました…
まだお互いのことを知るには短いですけど…
でも今日は少なくとも一つ

炎城くんのいい所が知れました
これからも末永くよろしくお願いします
なんか言い方が気にかかるんだよなぁ…
なぁ炎城…実はオレも今下着が濡れてて…
アンタは黙ってなさい…！

カッ
カッ
……女王は？
今さっき眠りました…
ぐー
ぐー
あの消耗度から見ると回復までしばらくかかりそうですね
保険をかけておいて正解でした
しかし逆に言えば暫くは私が指揮を執れるということ…
これでもう…〝キセイ蟲〟などと人間に揶揄されていた時代は終わり…

言うなれば〝キヨセイ蟲〟
まずはエグゼロスとやらを手中に収める所から始めましょうか

Extra Gallery

番外ギャラリー

第31話
GAME!
ねぇ烈人くん
宙もやっていい？
お一緒にやるか？
最近——
すっ
天空寺の様子がちょっとおかしい
ちょこんっ

第31話
宙のエネルゲン

ぴょこんっ

おはよう

お早いな天空寺

烈人くんの為に頑張って作った

へ？

あ…ありがとな…

それはそうと天空寺…お前熱でもあるのか…？

ないよ

ふぁ〜っ
トトッ
!
何やってるんだろあの二人…?
い…いや宙ちゃんに限ってまさかね…

天空寺の奴…
一体どうしたんだ…？
ここんとこ
やけに距離感が
近いような…
ガラッ
！
ペタ
ペタ
も…
もしかして…
ぺたっ

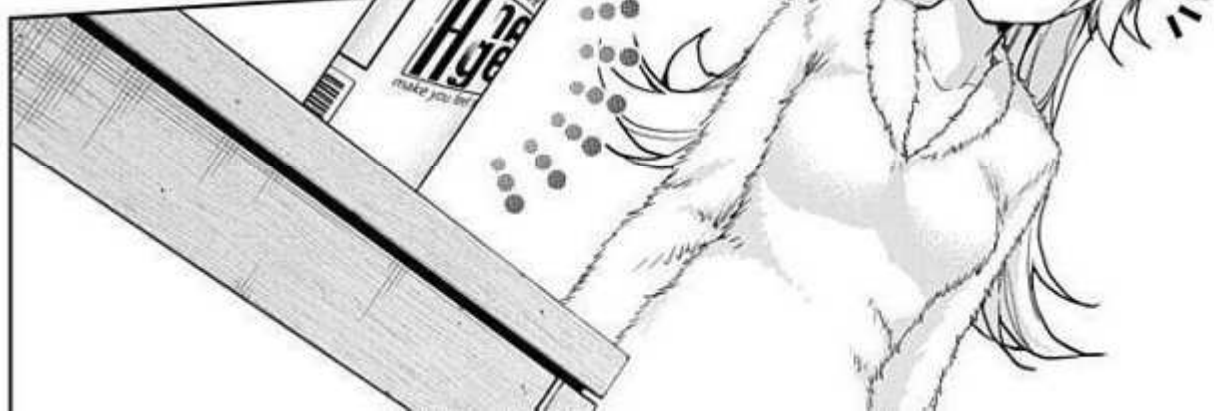
ザバァッ
シャンプー借りるね
やっぱりお前か天空寺！
俺はもう出るからっ…！
あっ
待って
ガシッ
つるっ

どしゃあっ
！
今誰お風呂入ってるんだっけ？
さっきソララが入ってくのを見たのだ
大丈夫宙ちゃん？
パタパタ
！！

最近ちょっと変じゃない宙ちゃん…
何か変わったことでもあったの…？
…………
誰にも言わない…？
もっもちろんよ…！
ほら事情があるんなら教えてくれれば協力出来るかもだし…
ドキドキ
……実は…

スランプ？
うん…
そっか
宙ちゃんって
自分でも漫画
描いてるんだっけ
どんな
ジャンル
なの？
…れ…
恋愛漫画…
↓実際
ふーん…

そういうのって
やっぱり自分で
体験してみるのが
一番手っ取り早い
んじゃない？
スキンシップ
とったり
お弁当作って
あげたりさ
あんま
わかんないけど
漫画ってそういう
実体験とか大事
そうじゃん？
ふむふむ
そういえば
宙ちゃんって
好きな人とか
いないの？
うん…
そっか…
それじゃあ
まずは一番身近な
男子で試して
みるとか？

緋色ちゃん〜〜〜……
な…なるほどそういうことね…
ほっ
ねぇ宙ちゃん
無理して人を好きになることないんじゃない？
大事なのは宙ちゃんの気持ち
それに自分に素直になればきっとスランプだってなくなるわ
ありがとう…

自分に素直に…
だめだー
きりのへや
ポーン
お届け物でーす
はいは〜い
るんるんっ
ついに来たで…待ってたんやこれを…！
冷蔵
クール宅配便
ぱかぁ…

せや…せっかく気持ちよくなるんやし
まずは風呂入ってさっぱりしてからやな
たっ
間。
はー…一旦リフレッシュしよ…
ガラ

Hネルゲン…
栄養ドリンクかな？
名前書いてないし
飲んじゃおう
カシュッ
ゴクッ
ゴクッ
うーん
変な味…
ホカ
ホカ

あーーっ!

何してんねん
宙っ!!

せっかくまた
おっちゃんから
取り寄せたのに…

あーもう
残ってない
やんけー

ごめん
百花ちゃん…

その夜――

ワオーン

ジャーッ

なんか身体が熱い…

ぽーっ

ガチャッ

アイス持ってこ…

パキッ

ガチャ
もぞもぞ
チュパチュパッ
スッ
!?
ペタッ

がばっ
なんで烈人くんが…？
そっか…また間違えて入っちゃったんだ…
こんなにドキドキするのは――
だけど今回が初めてかも…
ドキ
ドキ
ドキ

はっ…
はぁっ
なんだかまた身体が熱くなってきちゃった…
んっ…
ちゅぱちゅぱっ
♡
美味しい…
とろ～っ
くりくりくり

ポロッ
あっ
ビクッ
うっ…
はぁ…
はぁっ…
はっ
あれ…宙なんで烈人くんの部屋に…？
だけどなんだか…
だっ
今なら良い物が描ける気がする——

最近 女の子しか
描いてなかったから
良い気分転換に
なった

第32話
オナ中の真実

それじゃあ行ってきまーす
ほな気い付けてなー
ふっふっふ…ついに来たで
待ちに待ったこの日が…
雲母は実家に帰省
舞姫はお泊まり会宙はイベントで遠征
今日がここに来て初めての烈人と二人っきりの夜

今日は思う存分
Hネルギー溜め
させてもらうで…
やけど問題は
どうやって
烈人をその気に
させるかやな…
例えばこうやって
さり気なく風呂場に
〝おもちゃ〟を置き
忘れたフリするとか…
烈人には
いい刺激になる
んやないか？
ガサガサ
ポーン

はいはい
ガラッ
ももっち〜〜〜!!
萌萎!?なんでウチに…?
ぐすっ
今日泊めて…?
!

メンバーと
喧嘩して家出
してきたぁ!?

トーキョー支部
でも色々
あるんやなぁ
キョロ
キョロ
へーここが
サイタマ支部
ねー

せやけど こっちにも
準備ってもんが
あるんやから 急に
来られてもなぁ…
せっかく烈人と
二人っきりやと
思ったのに…

そっかー
残念…

それじゃあ
SNSで家出先
募集しようかな
わかった
わかった!
それだけは
絶対に
アカン!!

ガチャ
呼んだか 桃園？
ビクッ

れ…烈人!? そこに おったんか…
こんにちわー 烈人くんー

君はトーキョー 支部の…！ なんでここに…!?

いえーい
オナ中
でーす
えっとな 烈人…
前にも言ったかも
しれへんけど
この若草萌萎は
ウチのオナ中で
ちょっと今日は
お泊まりに来たんや
変に強調して
言わんで
ええっ!
そういえば
そんなこと
言ってたっけ
ってことは
桃園は前
トーキョーに
住んでたのか?
いや その
逆で萌萎が
前にこっちに
住んでたんや
うん
だからこの間
偶然会った時は
びっくり
しちゃった
へー

まぁ 当時から
そんな予感は
してたけどねぇ
自分も人のこと
言えへんやろ…
そう…
萌奏との出会いは
中学の頃
エグゼロスに
入る前の
ことや…

桃園ー お前今日こそちゃんと授業出ろよー
あーい
はぁー…次の授業体育か…
桃園百花（15歳）
サボろ
プーッ
当時：不良
んじゃあいつものでも決めるかな…

んっ
はっ…
はぁ…
……っ
…♡
FRONT
ON/OFF
ビクビクッ
スッキリ
ふぅっ…
実はウチは中学生の頃
授業をサボって人の来ない時間に女子トイレに籠もるのが日課やった…
〜〜〜〜〜〜♡
シャアァァァァ

しかしそんな
ある日…
日直
若草
桃園
日直めんどい
なぁ…
正直若草とも
あんまり話した
ことねーし…
全部任せて
帰ったろう
かな？
桃園さん
てさぁ…
桃園さんって
意外に可愛い声
出すんだね…
!

な…なんのことだか…
知ってるよアタヒ
ギクッ
桃園さんの秘密
バ
ン
てめー…そのこと他人に言ったらただじゃすまねーかんな…!?
………

大丈夫
別に言わない
から
だって
仲間だし
アタヒも
声出さない
ように
するのに
必死で…
あの時
隣に
居たんか!?
これが…
オナ中の萌萎との
出会いやった

シャワアアアァ
つたく前葵の所為で黒歴史思い出してもうたやんか…
入るよーももっち
!

萌萎!?
泊めてくれたお礼に背中流してあげる♪
別にええのに…
ゴシ
ゴシ
今更何も恥ずかしくないじゃん

すっ
だけどこんな物持ってるなんて
やっぱり変わってないみたいだねももっち
ひゃぁあっ!?
これは…昼間烈人を驚かせよ思て置きっ放しにしてたやつ…
びくびくっ
ふ…ッ
これじゃ昔と変わらない萌菱のペースや…
……ッ

けどもう萌萎に振り回されてばっかやったあの頃のウチやない…
エグゼロスになってウチは変わったんや…!
ばっ
そういう萌萎も
・・ココは変わってないみたいやな
はーっはーっ…
むにっ
ほんならウチが鍛え直したるわ
ヴヴヴヴヴヴッ

も…ももっち…!?
ん…っ
やぁ…っ
パァアッ
ムクッ…
どうや？ウチかて いつまでも 下手に出てる訳や あらへんで？
ガク ガクッ

はーっ はーっ
嬉しいよ ももっち…
昔だったら きっと やり返してくれなかったよね…
サイタマ支部では素直になれたんだね…
萌萎…
それに勝負はまだついてないよぉっ！
がばっ
ふおおっ⁉♡

ウ…ウチ
やって負け
へんで…！
まさか
ももっちと
XEROゲームを
することになる
なんてねぇ…
※15話参照
ぐりぐりっ
〜〜〜
〜〜っ♡

…はあっ
はぁっ…
どうやら引き分けみたいやな…
そ…そだね…
そういえば一体どんなことで喧嘩したんや？
それが…
紫子ちゃんがアタヒのプリン食べちゃって
は？

でも結局今日は泊まってくんか？
うん
せっかくだし久しぶりに話そーよー
はー…せっかく烈人と二人きりや思たのに…
ボン
あー…あの彼ねー
確かにさっきのももっちのテクもスゴかったけど
前に経験した烈人くんの方がもっとすごかったかなぁ
!?

ばぁんっ
おいコラ烈人！
なんでトーキョー支部とやったおもろそうな勝負のこと黙っとんねん！
ゴメン烈人くん言っちゃった
うおおいノックくらいしろよおおっ!!
バッ
烈人習うより慣れろや
どういう意味!?
長い夜になりそうだね

Extra Gallery

番外ギャラリー

第33話
はあああっ!
キショオオオオッ
ボボボッ
ふぅ…
キセイ蟲の残党退治 完了したよ 叔父さん
ご苦労さま 烈人くん

えっ？
烈人くん!?
……
また後でかけ直すよ
話は済んだ？
今日こそそのH×EROS渡してもらおう

第33話
曙のかくしごと

はらっ

がっ!!!
ドッ
ガッ
恨まないでね…
今の私はこうするしか――

まずい…人が集まって来た…

…………

どうやら今日はここまでみたいだな…

フッ

待っ……!

これはあの子の…
!
ガサッ
だ…大丈夫ですか…?
はっはい…!
こういうことは慣れてるんで
はっ
パラァ…
きゃあああっ
しまった〜〜〜!!

ただいま…
ボロ!!
今日は また ずいぶん派手に やりましたね…
H×EROSは 取られなかった?
あぁ…
手がかりは この折鶴だけ ねぇ…
そういえば 例の転校生の 様子はどうなん?
何か進展は あったんか?

いや…
まだ何とも…

だけど見た目もそっくりでHなものが苦手って…
そりゃ完全にクロやろ…！

早いとこシバいて二度と逆らわないようにお仕置きしてやらんと…！
違ってたらどう釈明するんですか…!?

確かに白雪の言う通り…
それに俺はあの子が宵月だとはどうも思えないんだよな…

烈人…
自分どっちの
味方やねん？
このままずっと
ウチらの
H×EROSが
狙われたままで
ええんか…？
別に
そういう
訳じゃ…
あーもう
わかったわよ
宵月さんとは
修学旅行で同じ班に
なれたことだし
明日もう少し
探ってみるから
想像だけで話すのは
やめにしましょ
ガラッ
！

まぁ
それなら…
言っとく
けど
これは
エグゼロスと
してじゃなく
友達として
心配でする
ことだから
ぐぬ…

そうそう
俺もそう
言おうと…
ホント？

………

なあチャチャ
ちょっと
任せたいことが
あるんやけど…
何なのだ
…？

ゴニョ
ゴニョ
了解
なのだ！
しーっ
声がでかい！

女子
更衣室
宵月さん
最近 大丈夫？
なんだか遅刻
多いけど…
ドキッ
えっ？
じ…実は
私すごい
ねぼすけで…
……
そう…

そうだ！
ねぇ宵月さん
今日 家に寄って
行っていい？
修学旅行の
打ち合わせ
ついでにさ
うっ
うちに…!?
え…えっと
それはちょっと
急すぎるというか
いや…急じゃ
なくても困るん
だけど…
あせあせっ
そうそうっ
今日はバイトが
あったんだった！
それじゃっ！
ぴゃーっ
宵月さん
服服ッ！
あ…
赤アアアアッ！
怪しすぎる
…！

修学旅行当日――
みなさーん準備はいいですかく?
これはあくまでも課外授業ですからあまり羽目を外しすぎないように

それでは修学旅行に
しゅっぱーつ！
たゆぱーん
織田先生…
自分が一番羽目外してるじゃん…！
キイイイイン

カッ
んーっ
この日差し…
ザ・オキナワ
って感じねー
ホント
暑い…

おーい炎城ー
行くぞー
悪い
今行く

ごそごそ
ん？
今何か中で動いたような…
パハーッ
!
じっ
ぬぬぬぬぬいぐるみが喋って…
もしかしてお前…チャチャ!?
なんでこんな所に…
全く…レットは余計なものを持って来すぎなのだ…
レット達だけじゃ不安だからモモカに言われてお目付役にボクが来たのだ

桃園があんな簡単に
折れるなんて
珍しいと思ったけど
そういうことか…

ひそ
いいか？
絶対勝手な
行動するなよ？
ひそ
わかってる
のだ

それでは
ここから先は
ワゴンタクシーを
使って班行動して
もらいますけど
夜にちょっとした
イベントがあるので
門限にはホテルに
戻って来るようにー
はーい

ザザー

曙ちゃんも早くー！
いや私は…
遠慮しときます…
もしまたアレが発動したら…
ひそっ
大丈夫よ宵月さん
例の体質のことは気にしなくても
いざとなったら私達が助けてあげるから
ね？

そっか…
もう…一人で悩まないでいいんだ…
ありがと星乃さん…
それじゃあ少しだけ…
ぱんぱん
よいつき
宵月さんその水着って…⁉
中学のだけど…
あそこは恥ずかしがらないんだ…

ザザザーン

すーっ
すーっ
ゴトゴト
ゴソゴソ
ぴょこっ

ふむ…この子がニセのエグゼロスかもしれないニンゲン…
そうなのだ…！このニンゲンにHネルギーを溜めさせて
もし黒いH×EROSが反応すれば犯人に決まりなのだ！
キュピーン
一体どうすれば本性がわかるのだ…？
そうと決まれば…
たんっ
作戦実行なのだ!!
がばっ

ん…
確かニンゲンのHネルギーが溜まりやすい所は
凸起か凹みだった気がするのだ
ふにふに
ここか…
ビクンッ
こういうとこなのだ…？
くにっ
ふあっ…!?♡

パチ
どうしたんだ 宵月…?
ビクッ
なっ 何でもない …!
誰にも触られて ないはずなのに そう感じるなんて
もぞん
もぞん
まさか私の 体質も ここまで きちゃった…!?
もぞぞ
ならいい んだ…
しかも… こんな 炎城くんの 眼の前で…
ひやぁあ あっ!?
なかなか しぶといのだ…
ぺろっ

ドキッ
ハッ
びくんっ
ふぐぅ〜〜〜!!
♡♡♡
はっ♡
はっ♡
ご…ごめん…
おう…

ふらふら
どうかしたの宵月さん？
いや…ちょっとちょっと車に酔っちゃったみたいで…
うちのクラスは揃ったみたいですねー
それではホテルに向かいがてら親交を深めるために…
肝試しでもしましょうか
ざわっ!!

ルールは簡単
10分おきにくじで決めたペアでこの森を抜けゴールのホテルへ向かうだけ
HOTEL
現在地
仕掛けなどは一切ないので安心して下さい

ただしこの森にはカップルのみを襲う嫉妬深い幽霊が出るらしいので不純異性交遊はくれぐれもしないこと
ざわ
ざわ

やっぱり――

宵月＆炎城ペア

もしかしてビビってる…？

そんなんじゃないっ…！

わかりやすい…

…？
！
ねぇ炎城くん…なんか変な声聞こえない…？
そうか…？別に何も聞こえないけど…
次の組の人の会話じゃないのか？
いや…会話とかじゃなくて もっとこう…悲しそうな声…
あっちの浜辺の方から
！そう言われてみれば…
そーっ
もしかして例の幽霊だったりして
ちょっと変なこと言わないでよっ!!

!?
♡
い…今のって…
ドクン
きっとアレだよね…？
ドクンッ
ぽっ

あっ…あぁっ…♡
何もなかったことだしコースに戻るか…
そこ…ッ
だめっ…♡
カァァッ
ソッ…ソウダネ！
それにしてもさっきから汗がすごい…
帰りのタクシーから私変かも…
たらっ
ガッ
!!

あ

そ…そうだ…! 宵月 最近遅刻とか早退多かったけど体調とか大丈夫か?

トラブルに巻き込まれやすい体質ってことは知ってるつもりだけどさ…

困ってることがあったらなんでもいいから話して欲しいなーなんて…

なんでだろ…さっきのドキドキの所為か…
今なら何でも話せる気がする…
実は…

へ?
ふぐぅっ
ウチん家…すごく貧乏で…

修学旅行に行けるようバイトのシフト増やしたから遅刻とか早退が増えちゃって…
最初はいつもみたいに修学旅行は休もうと思ってたけど班に誘って貰うの初めてだったし…

そうだったのか…

こんなこと
いうのは
初めてだけど…
今の所は まぁ…
来てよかった
…かな…
これは
エグゼロスと
してじゃなく
友達として
心配でする
ことだから

俺も…もう隠すのはよそう…

俺も…！

宵月に言わなきゃいけないことがあるんだ

ごめん…なんのことだかさっぱり…
だ…だよな…！
ほっ
…この反応…シラを切ってる訳じゃなさそうだ…
事情はよくわからないけど…
打ち明けてくれたのは嬉しい…かな…
宵月…
ほっほら私だけ話すのも不公平だったし…！
まぁ確かに…

今の声…星乃のだ…!

な…なんか肝試しにしては本気っぽかったよね…?

俺ちょっと見てくる…

私もっ…!

ってあれ?バッグが…

どうした?

えっと…さっきバッグを落としちゃったみたいで…

！
あったぞ
これじゃないか？
これって…
ド級編隊エグゼロス 7 (完)

ド級編隊エグゼロス セミカラー版
7巻

きただりょうま


初版発行　　　　2019 年
デジタル版発行　2020 年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。